

**「時代を超えて選ばれ続ける
革新的なエネルギー&サービスカンパニー」への進化と
持続可能な社会の実現に向けて**

Creating Value for a Sustainable Future

大阪ガス株式会社 (証券コード 9532)



本日の流れ

1. Daigasグループの概要
2. 各セグメントの状況
3. 脱炭素社会実現に向けた取り組み【動画】
4. 経営指標と業績推移
5. QAセッション

インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています：下記URLから決算短信、統合報告書、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。
<https://www.daigasgroup.com/ir/>

「見通し」に関する注意事項：このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。

ガス販売量に関する注記：全て、基準熱量を45MJ/m³として、表記しています。

1.Daigasグループの概要

Daigasグループの概要

創業	1905年
本社所在地	大阪府大阪市
従業員数*	(連結) 20,961人 (個別) 3,189人
関係会社数*	(連結子会社) 150社 (持分法適用関連会社) 30社
資本金*	132,166百万円
連結総資産*	2兆5,698億円
連結売上高**	1兆5,868億円

*2022年3月末時点 **2022年3月期



Daigas Group

長期経営ビジョン2030で描く未来像の実現に向けて、グループ一丸となって社会やお客様の価値向上に取り組む決意を表明すべく、2018年3月、**新グループブランド「Daigasグループ」**を導入。

Daigasグループの都市ガス供給エリア



Daigasグループ企業理念

Daigasグループの目指す姿

暮らしとビジネスの“さらなる進化”の
お役に立つ企業グループ

Daigasグループの宣言

Daigasグループは、4つの価値創造を実現します

お客さま価値

社会価値

株主さま価値

従業員価値

Daigasグループ社是

サービス第一

Daigasグループにおけるイノベーションの歴史

電力事業

都市ガス
用途開発

都市ガス
原料の低炭素化



Daigasグループのバリューチェーン

- ✓ Daigasグループは天然ガスの調達・輸送から、都市ガス製造や発電、供給、販売、保安までを一貫して手掛けている。
- ✓ これらのノウハウを活用し、国内外を問わず新たな事業領域の拡大に積極的にチャレンジすることで、バリューチェーンのさらなる強化に取り組む。

海外エネルギー事業

事業
ユニット

資源・海外



上流



北米中下流



トレード



北米IPP



アジア

国内エネルギー事業

事業
ユニット

ガス製造・発電・
エンジニアリング

ネットワーク

エナジー
ソリューション



発電
再生可能エネルギー

関西電力送配電
(株)などの送配
電網を利用します

送電



家庭用

大阪ガス
Marketing



ガス製造
エンジニアリング



ネットワーク



業務用・産業用

Daigas
G&P Solution

大阪ガスネットワーク

Daigas エナジー

LBS事業

事業
ユニット

都市開発

情報

材料



都市開発

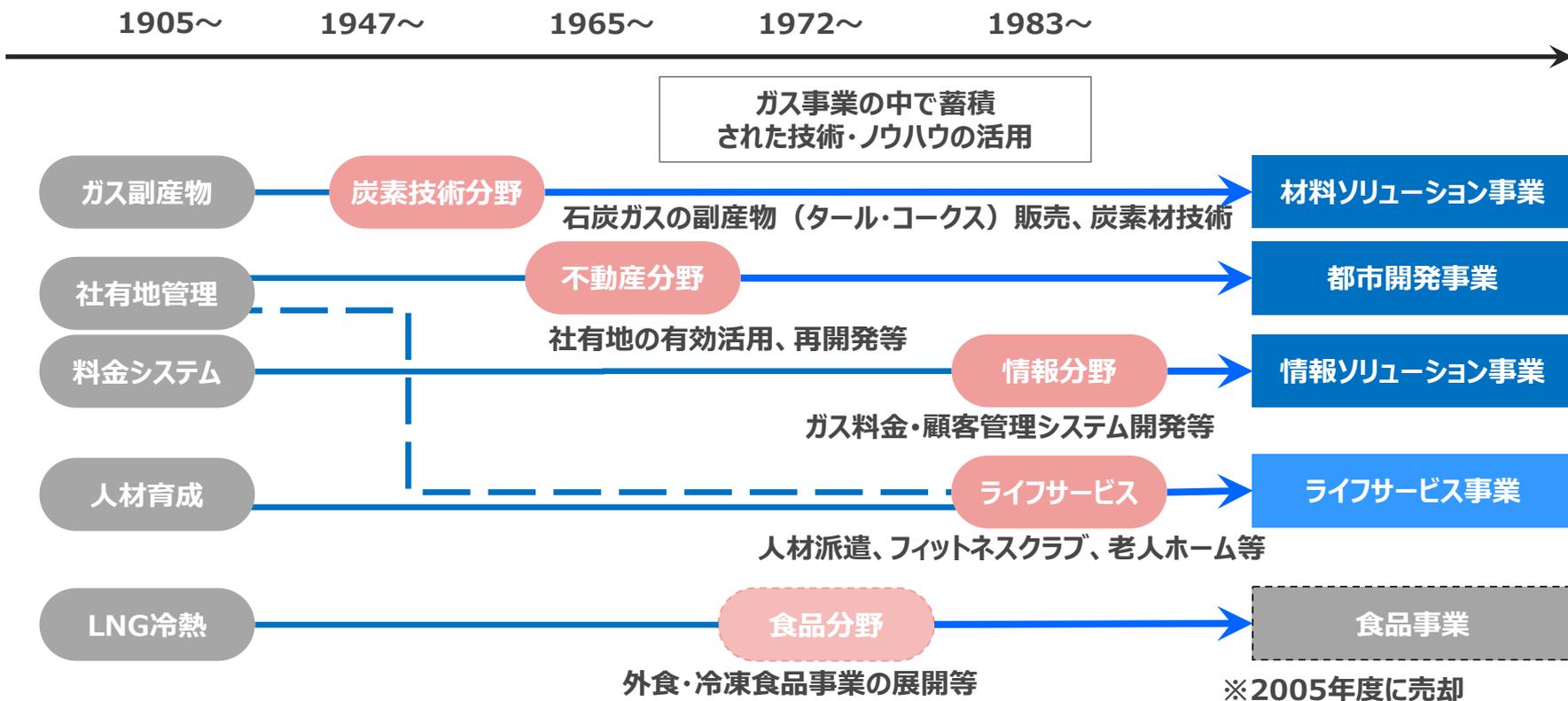


情報



材料

ライフ&ビジネス ソリューション事業の選択と集中



事業拡大・補強のためのM&A

2005年	日本エンバイロケミカルズ（生活環境事業）
2006年	さくら情報システム（ソフトウェア開発、情報処理サービス）
2013年	Sutton and East Surrey Water（英国水道事業）

2013年	Jacobi Carbons AB（活性炭事業）
2015年	水澤化学工業（吸着剤事業等）
2017年	アグニコンサルティング（業務・ITコンサルティング事業）

セグメント別実績

(事業内容)

■ 国内エネルギー

都市ガスの製造・供給及び販売、ガス機器販売、ガス配管工事、LNG販売、LNG輸送、LPG販売、産業ガス販売、並びに発電及び電気の販売等

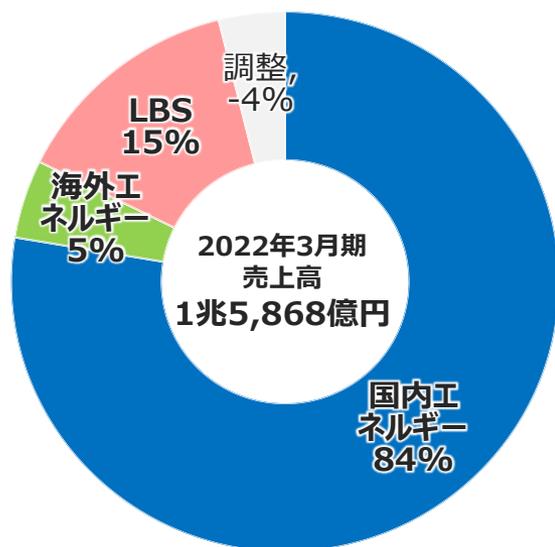
■ 海外エネルギー

天然ガス等に関する開発・投資、エネルギー供給等

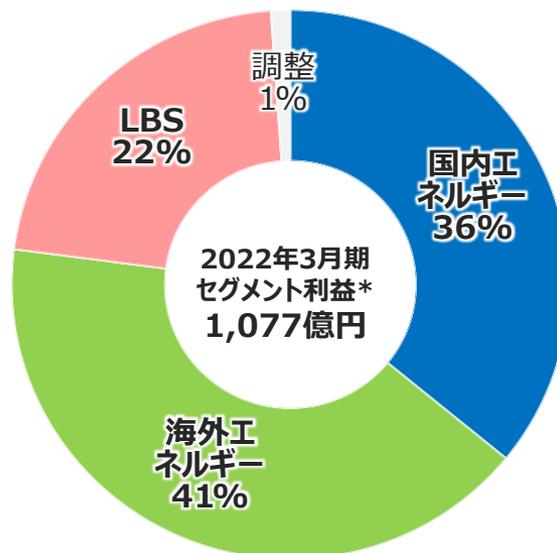
■ ライフ&ビジネスソリューション(LBS)

不動産の開発及び賃貸、情報処理サービス、ファイン材料及び炭素材製品の販売等

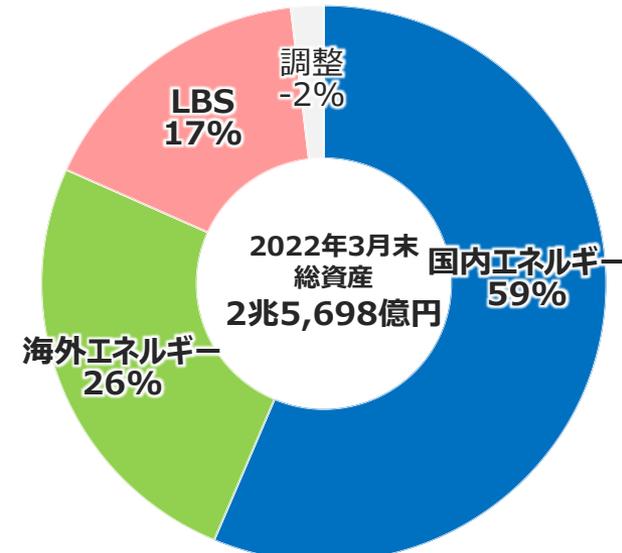
売上高比率



利益比率

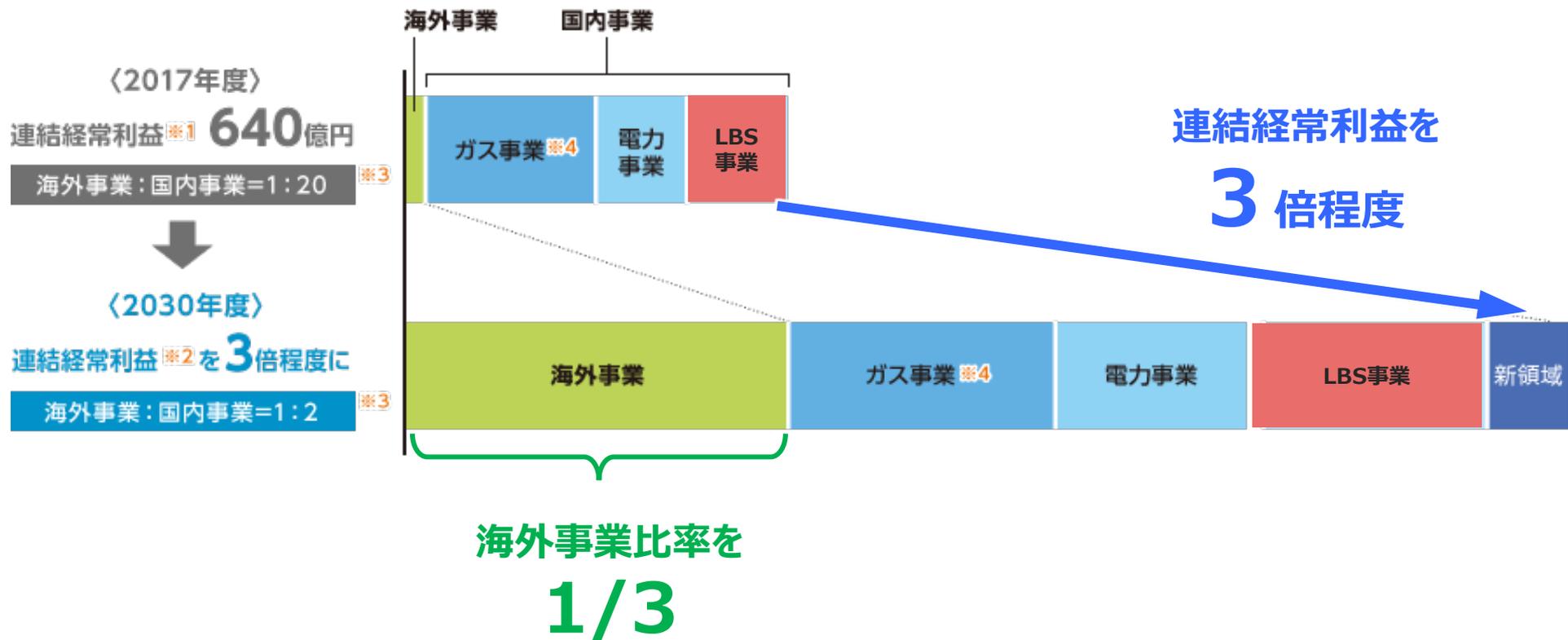


資産比率



*営業利益+持分法投資損益

2030年度に目指す姿

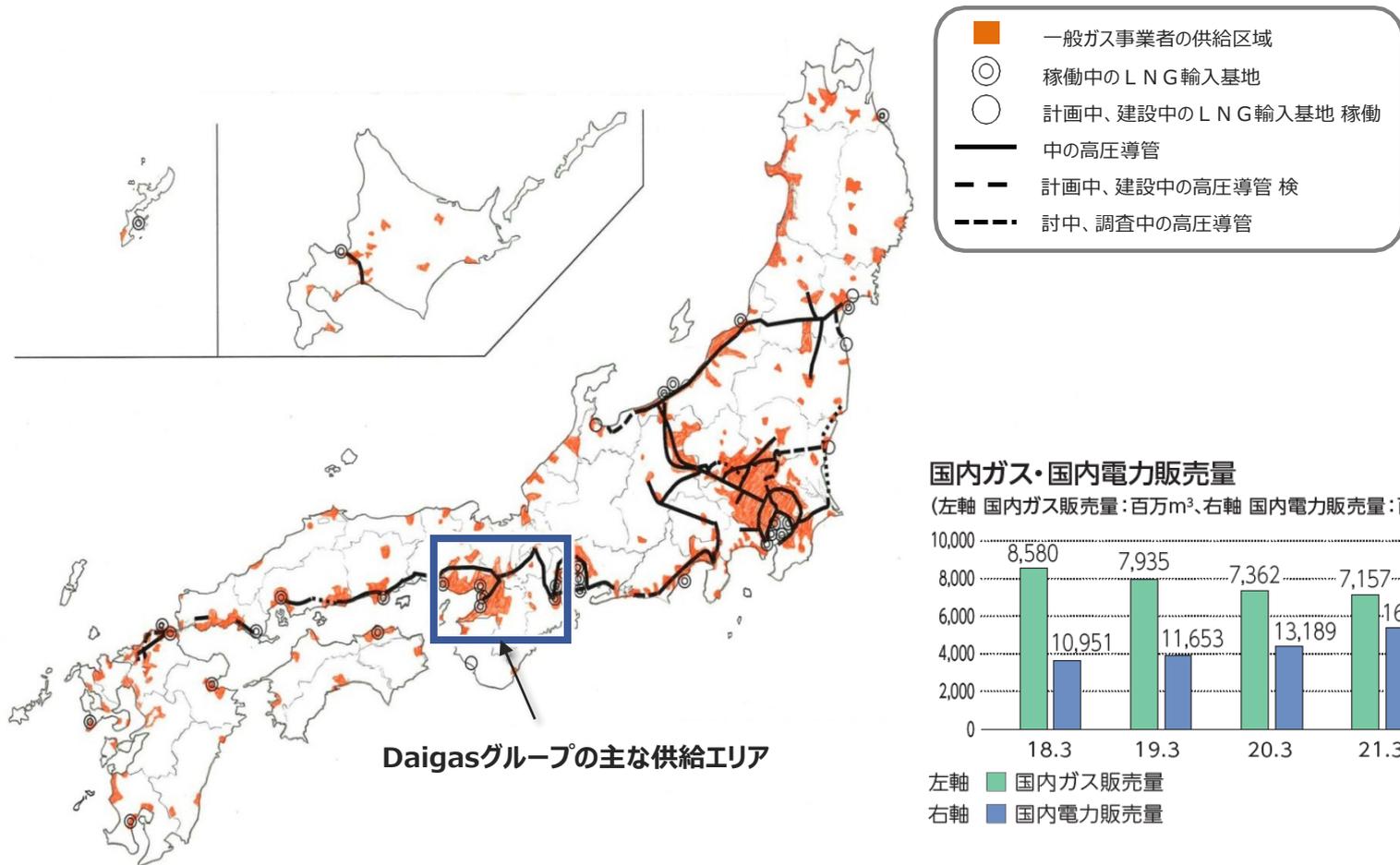


- ※1 油価55ドル／バレル、為替115円／ドル前提
- ※2 油価70ドル／バレル、為替115円／ドル前提
- ※3 連結経常利益ベース
- ※4 ガス事業利益には機器販売やLNG販売等を含む

2.各セグメントの状況

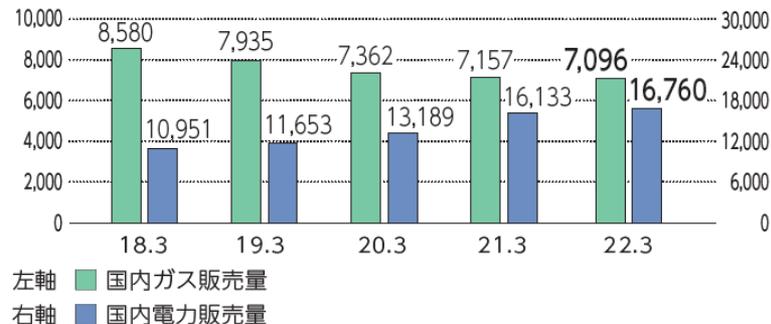
国内エネルギーの状況

- ✓ Daigasグループは全国で2番目の規模のガス事業者
- ✓ 都市ガス会社の供給区域は国土の6%弱、一方で供給区域内世帯数は全国世帯数の約67%
- ✓ 東京-名古屋間は未だ接続されてなく、国を縦断するパイプラインはない



国内ガス・国内電力販売量

(左軸 国内ガス販売量:百万m³、右軸 国内電力販売量:百万kWh)



国内エネルギー事業を取巻く環境変化

【自由化の対象の変遷】

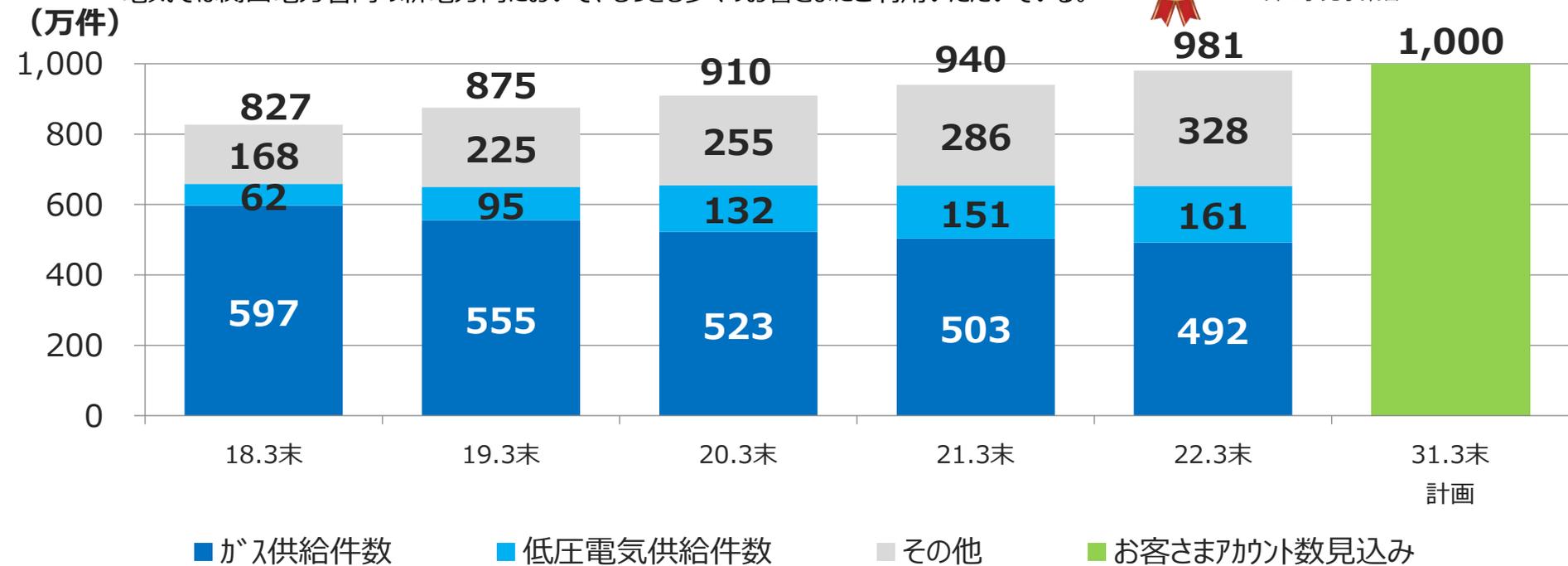
	1995年	1999年	2000年	2004年	2005年	2007年	2016年	2017年
ガス事業	200万m ³ 以上	100万m ³ 以上		50万m ³ 以上		10万m ³ 以上		全面自由化
電力事業			2,000kW以上	500kW以上	50kW以上		全面自由化	
主な対象	大規模工場・ビル			大型の商業施設 シティホテル等	中小工場・病院 ビジネスホテル・スーパー等		家庭用を含む全てのお客さま	

【お客さまアカウント数推移】

電気では関西電力管内の新電力内において、もっとも多くのお客さまにご利用いただいている。*

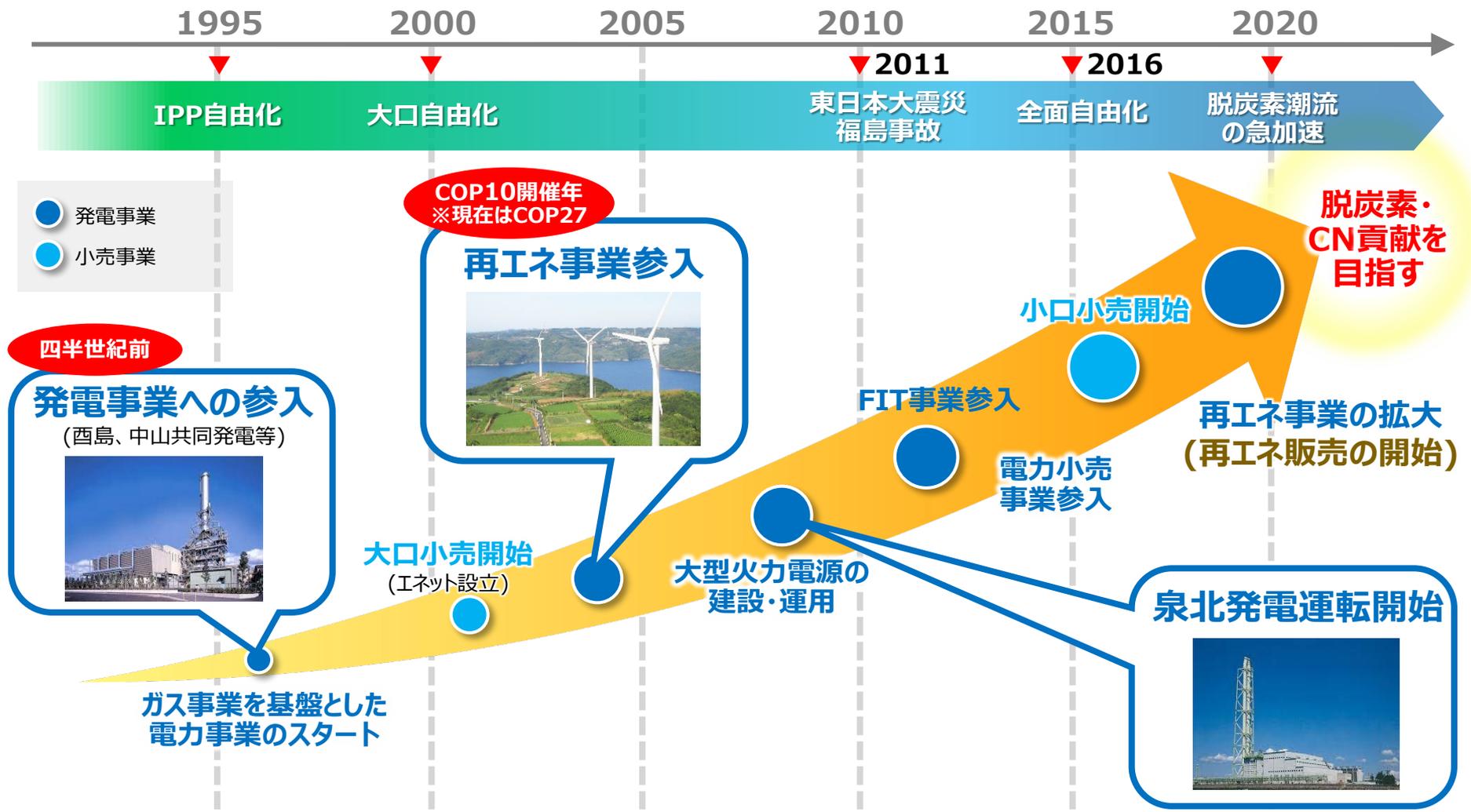


*出典：電力・ガス取引監視等委員会
新電力とはみなし小売り電気事業者以外の小売事業者



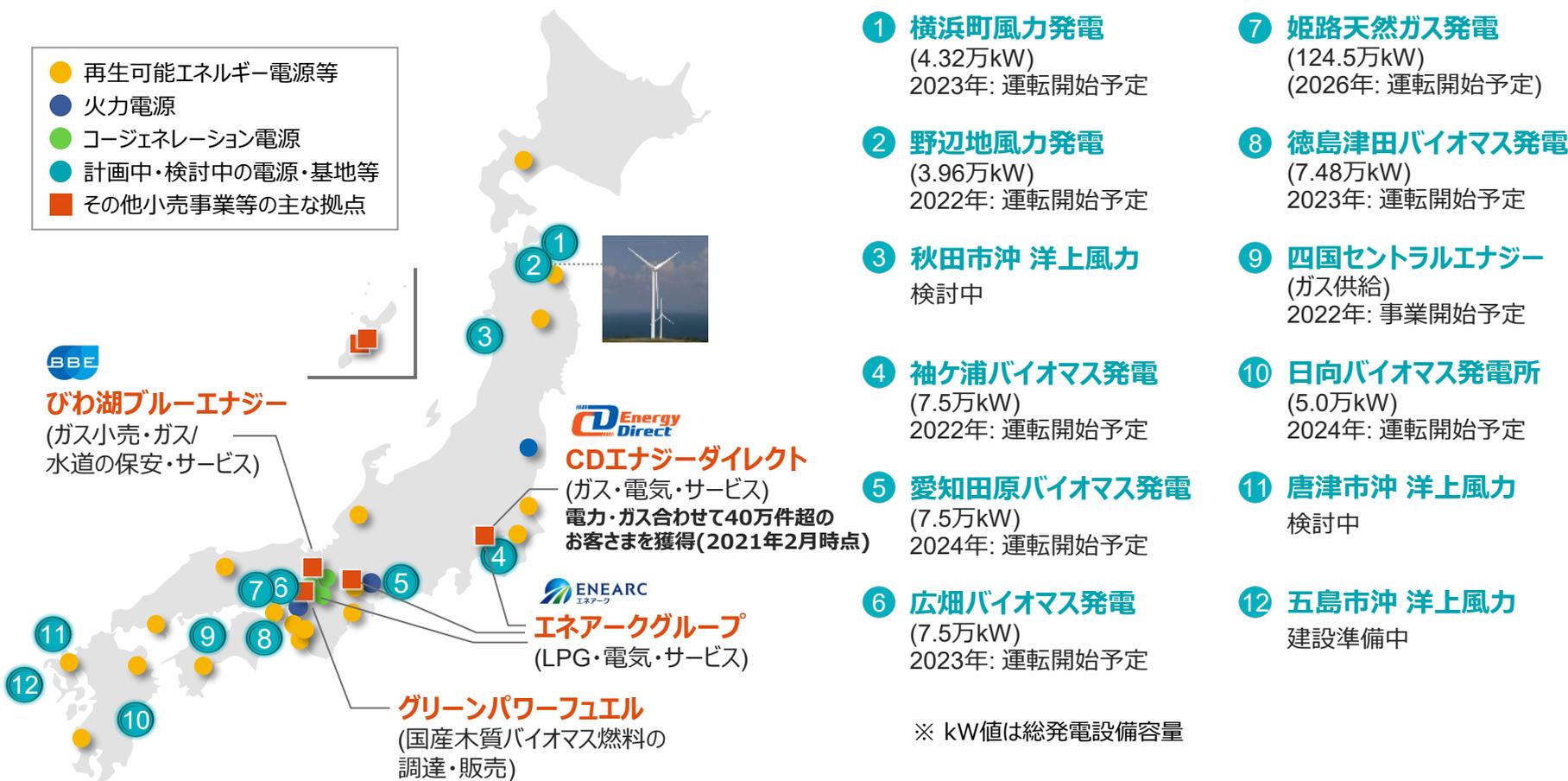
国内エネルギー事業（発電・再生可能エネルギー）

- ✓ 泉北天然ガス発電所をはじめとした天然ガス火力発電を中心に、コージェネレーション、再生可能エネルギー電源など多様な電源で発電



国内エネルギー事業（広域）

エネルギー事業者として、全国で低・脱炭素に貢献し競争力のあるインフラ構築とサービスの提供を進めます。



開発・取得強化
に向けた取り組み

再エネ投資に向けた三菱UFJ銀行さま、
NTTアノードエナジーさまなどのファンド運営会社設立

GPSSホールディングスさまとの
中小小型発電所の共同開発合意

海外エネルギー事業

✓ エネルギー事業者として早くから天然ガスバリューチェーンに注目し、海外における投資を推進

事業ノウハウ獲得

利益貢献の拡大

国内エネルギー事業の知見を活かした事業展開

海外エネルギー事業の投資の状況 (2022年1月末時点)



サグントLNG基地



フリーポートLNG基地
Freeport LNG Development, L.P.提供



フェアビュー
天然ガス火力発電所

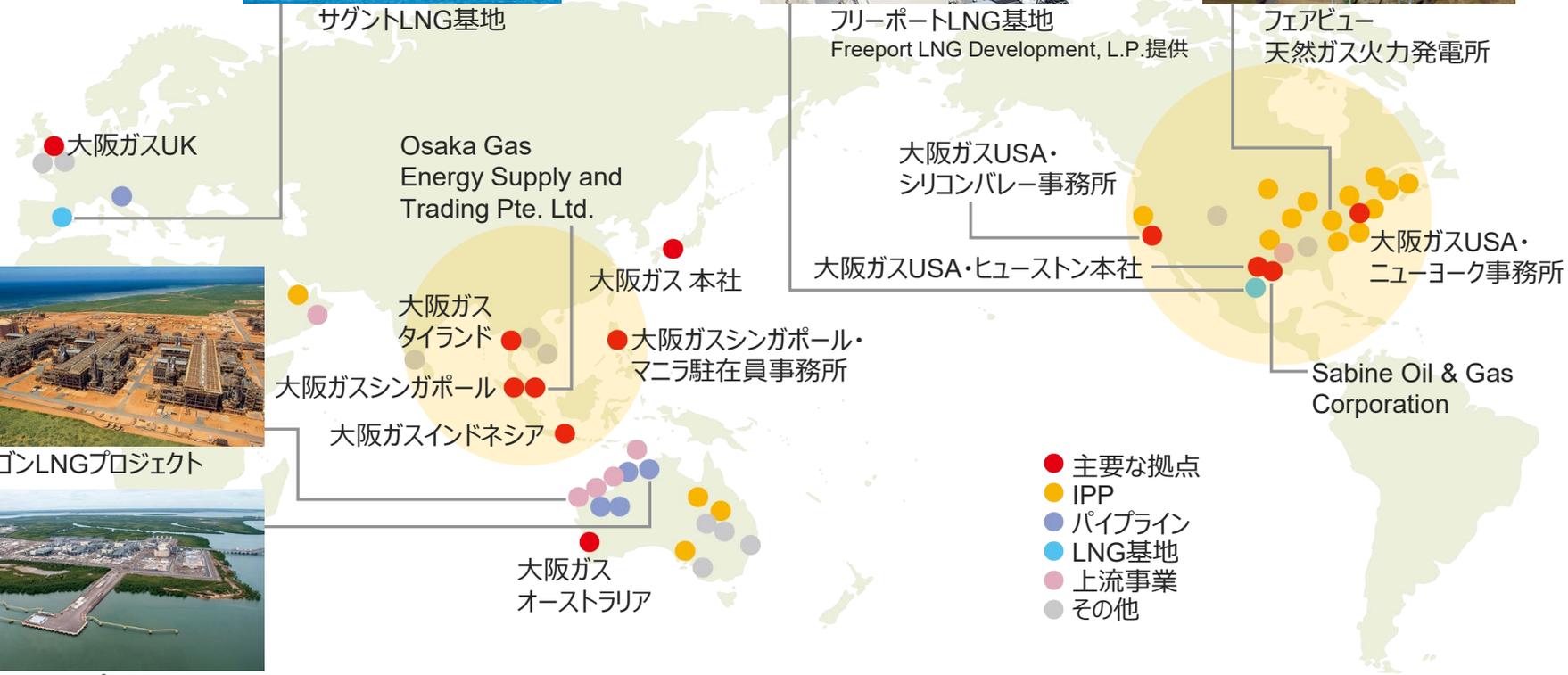


ゴーゴンLNGプロジェクト



イクシスLNGプロジェクト

Daiogas Group (株) INPEX提供



ライフ&ビジネス ソリューション事業

- ✓ エネルギー事業で培った技術、事業ノウハウを活かし、エネルギー事業と異なる事業を展開することで、事業リスクの分散に取り組む

都市開発事業（大阪ガス都市開発グループ）

分譲・賃貸マンション、オフィスビルなどの物件の開発、建物・施設の運営管理など、不動産事業を幅広く展開しています。



材料ソリューション（大阪ガスケミカルグループ）

石炭化学技術や医療・農薬関連技術などをコアに、高機能素材の開発、製造、販売を行っています。また、2014年に活性炭事業者のJacobi Carbons AB（スウェーデン）をグループ化するなど、グローバルに事業を展開しています。



情報ソリューション（オーガス総研グループ）

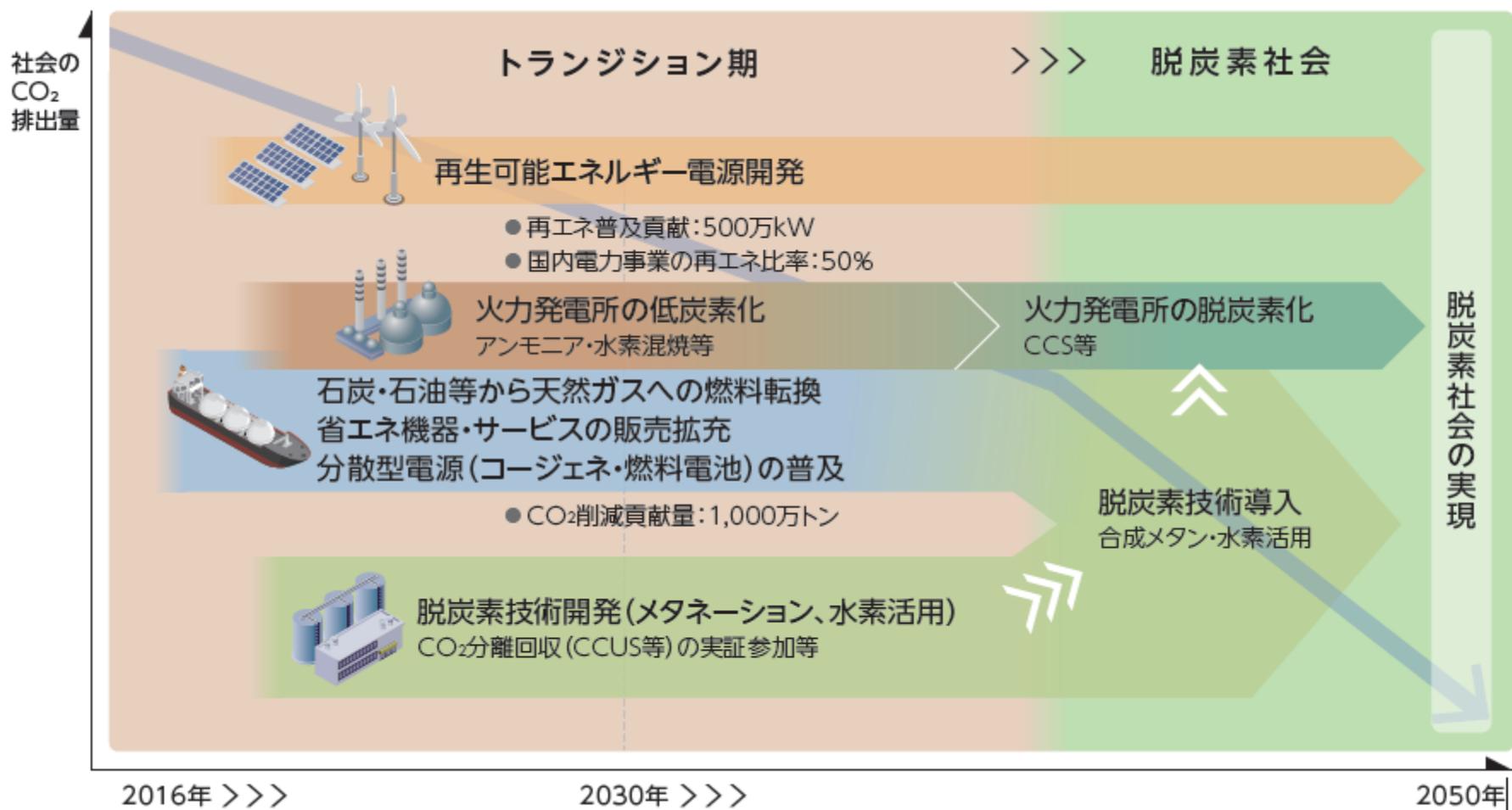
大阪ガスの事業向けシステム開発・運用を主な業務としてスタートし、その後、M&Aにより製造業、金融業向けにサービスを提供するシステム会社をグループ化しました。各会社で保有するノウハウを共有することで、企業情報システムのコンサルティング・設計・開発・運用から、データセンター・クラウドサービス、セキュリティに至るまで、総合的なITサービスを提供しています。



3. 脱炭素社会実現に向けた取り組み

2050年脱炭素社会への移行イメージ

動画素材: [【Daigasグループ】2050年 カーボンニュートラル社会の実現へ](#) (約5分)



カーボンニュートラルに向けた電力事業の取り組み

✓ 2004年以降、Daigasグループは再生可能エネルギー導入による電源の脱炭素化を積極的に推進。

～再エネ普及貢献量500万kWの獲得に向け、電源開発・調達を加速～

2030年度の再生可能エネルギー関連目標※1

※1 FIT電源含む

- ① 国内外における再生可能エネルギー電源普及貢献 **500 万kW**
- ② 国内電力事業における再生可能エネルギー比率 **50 %程度**

再生可能エネルギー電源の開発実績

陸上風力発電
(10ヶ所※2)



印南風力発電所

バイオマス発電
(9ヶ所※2)



松阪バイオマス発電所

太陽光発電
(13ヶ所※2)



西島第三太陽光発電所



(株)グリーンパワーフュエル
国産木材の長期安定供給に
向けた燃料供給事業

約 140 万kW

国内

海外

250 万kW
国内+海外

電源開発・
保有

電力調達

500 万kW
国内+海外

電源開発・
保有

電力調達

※2 国内・開発着手済

2022年 3月末 時点

2023年度まで

2030年度まで

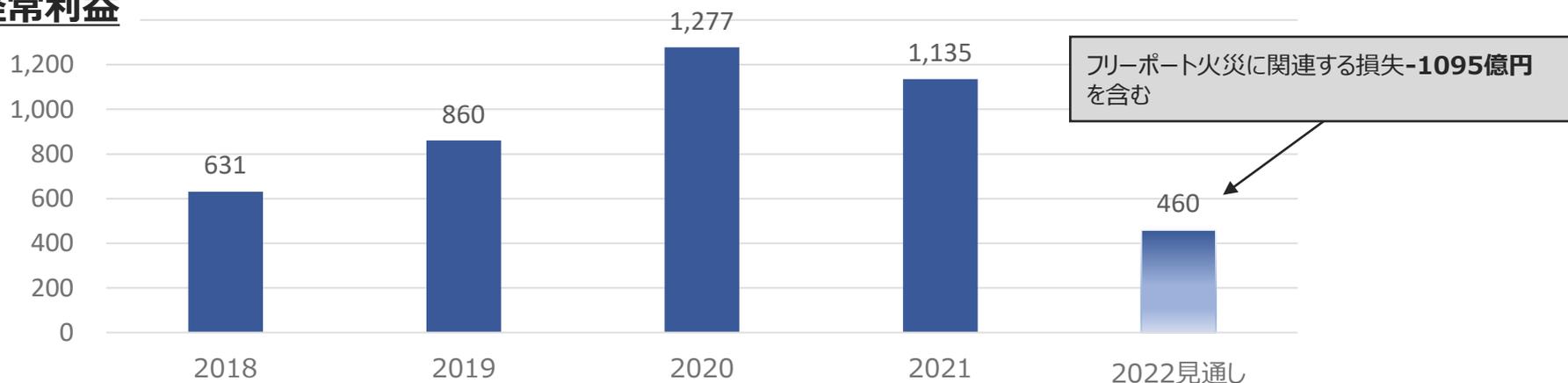
4.経営指標と業績推移

業績の推移と見通し

✓ 22年度利益は、北米のフリーポート火災の影響によるLNG調達等の費用の増加により減益の見通し

連結：億円	2018年度 実績	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 見通し
売上高	13,718	13,686	13,641	15,911	22,500
営業利益	679	837	1,124	992	430
経常利益	631	860	1,277	1,135	460
タイムラグ差損益	-132	65	-16	-623	-400
親会社株主に帰属する 当期純利益	336	417	808	1,304	290
ROE	3.4%	4.2%	7.8%	11.0%	2.3%
為替レート (¥/\$)	110.9	108.7	106.1	112.4	139.5
原油価格 (\$/bbl)	72.2	67.8	43.4	77.2	106.0

経常利益



中期経営計画2023 経営指標

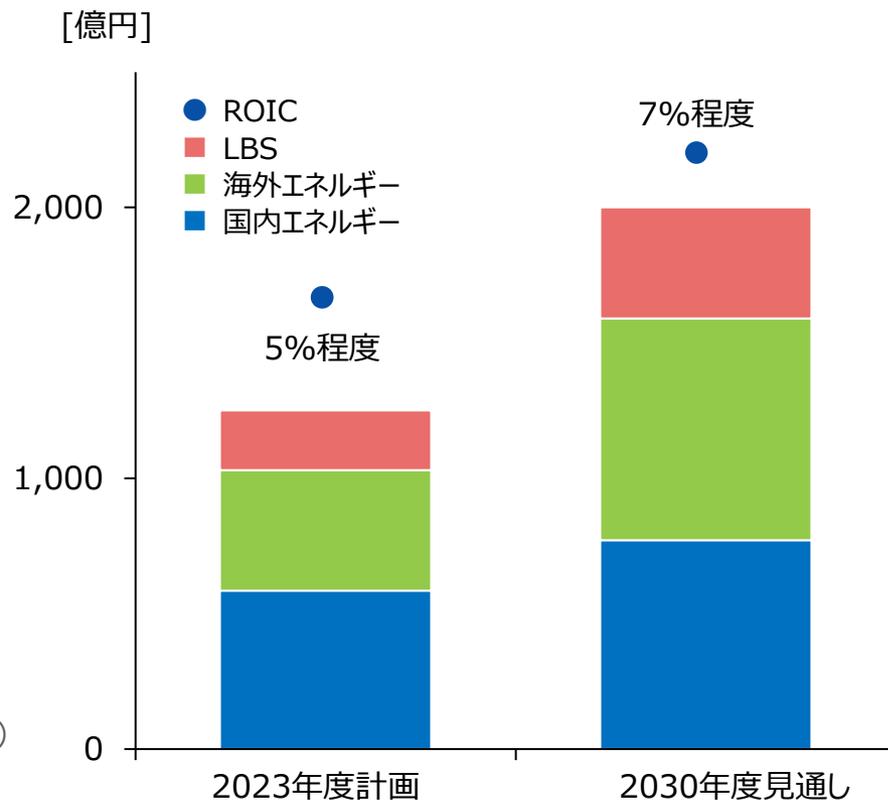
中期経営計画2023の経営指標

		2023年度 計画
収益性 指標	ROIC ^{※1} (参考)ROE	5%程度 (7.5%程度)
財務健全性 指標	D/E 比率 ^{※2}	0.7 程度
	自己資本 比率 ^{※2}	50% 程度
株主還元	配当性向	30%以上 ^{※3}

※1 ROIC = (経常利益 - 支払・受取利息 - 法人税等) ÷ (有利子負債 + 自己資本)
有利子負債は、当社にリスクのないリース負債を除く
国内エネルギー事業における一時的な影響を除く
(ガス事業・電力事業のタイムラグ影響)

※2 発行済ハイブリッド社債の資本性50%を調整 ※3 短期的な利益変動要因を除く

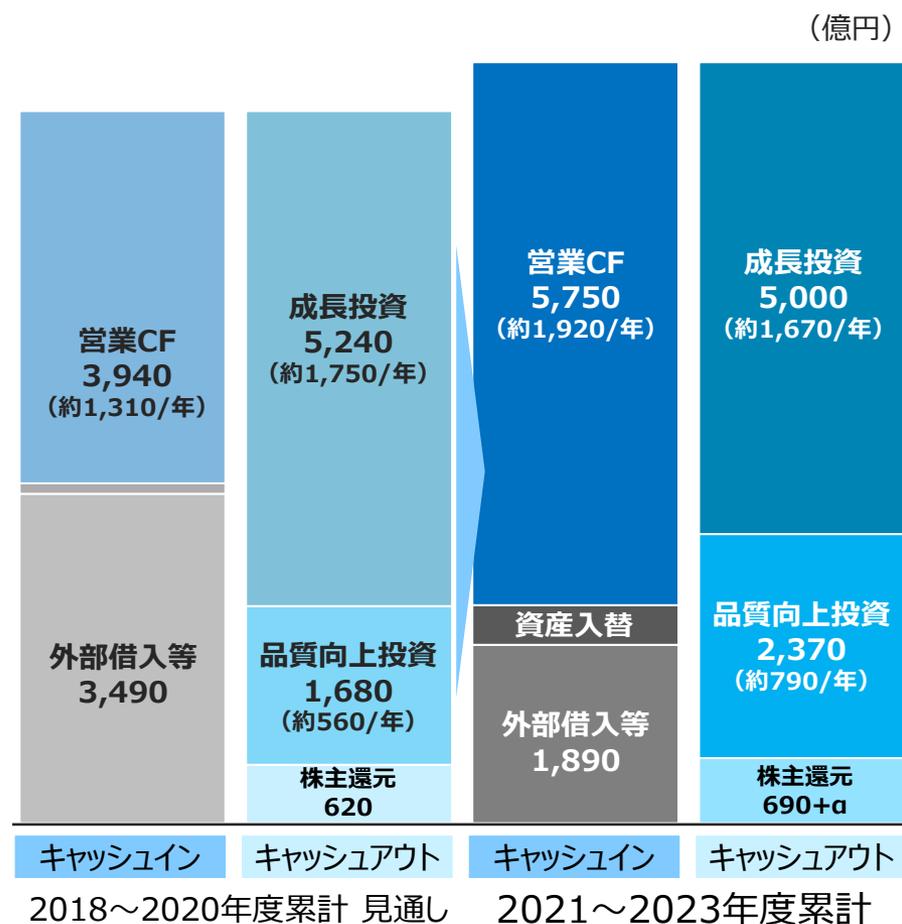
セグメント別の経常利益成長^{※4}



※4 一時的な影響を除く (ガス事業・電力事業のタイムラグ影響)

中期経営計画2023 経営指標

本中期におけるキャッシュフロー（CF）



キャッシュイン

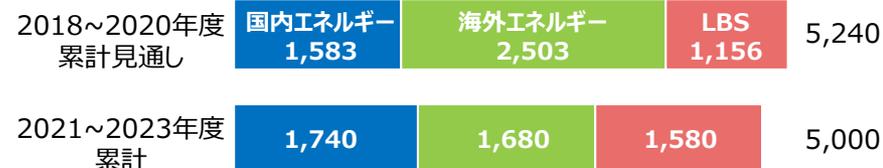
営業CFの成長（前3カ年見通しの1.5倍）・資産入替による外部借入の減少によって、財務健全性を維持

キャッシュアウト

成長投資においては、投資効率を意識した戦略的・選択的な投資を実行

- ・ 脱炭素領域（国内外の再生可能エネルギー等）
- ・ 着実な収益貢献を見込む領域（北米事業、電源開発、LBS事業等）
- ・ アジアなど、強みが活かせる新規成長領域

【成長投資内訳】



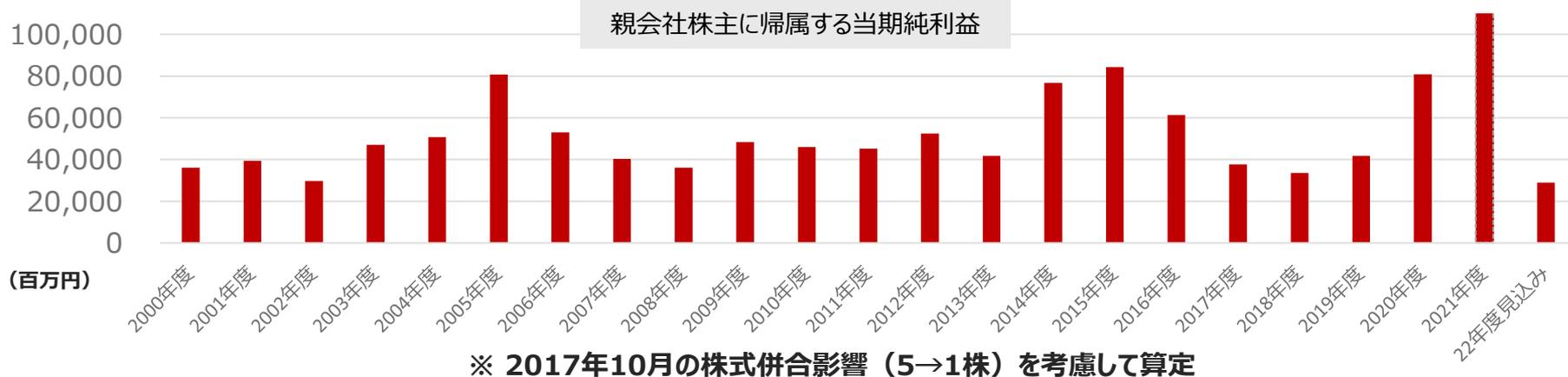
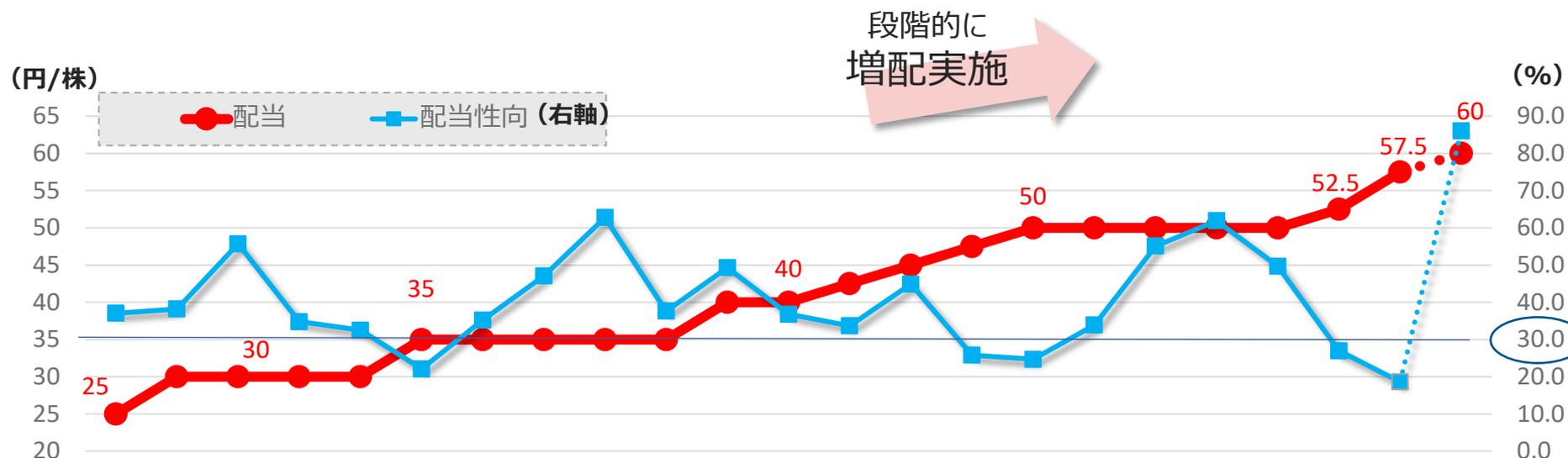
品質向上投資においては、DX・レジリエンス向上に向けた投資を強化

株主還元方針※に基づく、利益成長による株主還元

※安定配当の継続・連結配当性向30%以上

株主還元方針と還元状況

【株主還元方針】 ・安定配当を基本 ・短期的変動要因を除き連結配当性向30%以上



5.QAセッション

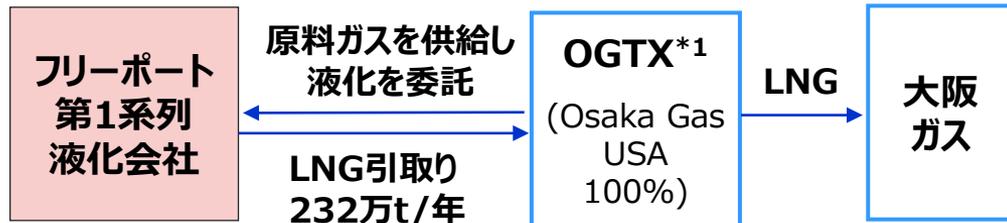
QA1 :
北米のフリーポート火災の影響とは何か？
いつ復旧するのか。来年度も影響があるのか？

フリーポートLNGプロジェクトの影響について

*1 Osaka Gas Trading and Export LLC
 *2 Osaka Gas Liquefaction LLC
 *3 Turbo LLC

- ✓ フリーポートLNGプロジェクトに対して当社は年間232万トンのLNGを調達するとともに、出資参画している
- ✓ 今年6月の火災以降、現在も操業停止しており、通期で1,095億円の減益影響となる見通し

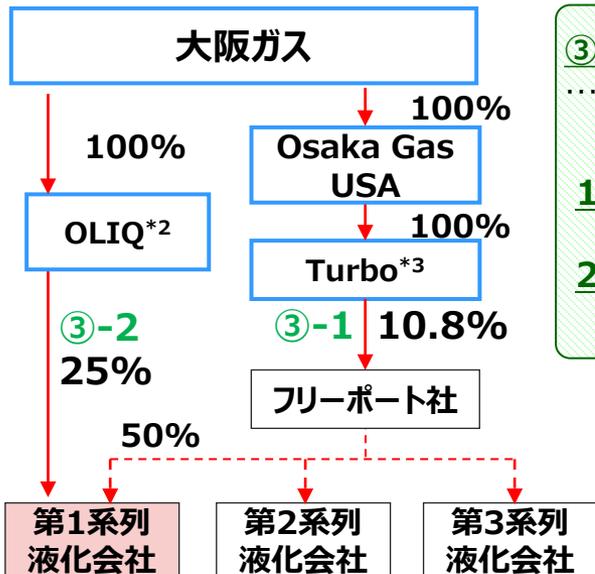
国内エネルギーセグメントへの影響（LNG調達の流れ）



① **当社顧客向け販売**（ガス事業粗利に計上）
 …フリーポートの操業停止により代替調達コストが発生

② **他社へのLNG販売**
 （国内エネルギーセグメントのその他に計上）
 …フリーポートの操業停止により
 各種契約に応じた対応損失が発生

海外エネルギーセグメントへの影響（出資の流れ）



③ **オーナー側収益**
 …以下の2種類の経路で出資。
 操業停止で収益逸失

- フリーポート社への出資（営業損益に計上）
- 第1系列への出資（持分法投資損益に計上）

フリーポート火災による減益影響

単位：億円		2Q実績 (1Q+2Q)	今回通期 見通し	前回通期 見通し 8/1公表
① 当社顧客 向け販売	国内エネ セグメント	-884	-935	-650
② 他社への LNG販売				
③ オーナー側 収益	海外エネ セグメント	-34	-145	-145
その他(営業外損益) ※①②によるもの		-15	-15	-
経常利益影響合計		-934	-1,095	-795

QA2 :
自由化が進展し、ガスの顧客数が
減少しているようだが、どのように対応するのか？

エネルギー事業（家庭用）における強みと取組み

- ✓ 強みは供給エリア内に約200店舗あるサービスショップを通じたFace to Faceの接点機会
- ✓ 料金・サービスメニューを拡充すると共に、首都圏での事業展開を実施

大阪ガスの強み

ガスのお客さま数(2022年3月末時点・連結)

約500万戸

サービスショップ

約200店舗

電気料金メニューの拡充

<スタイルプラン>



スタイルプランS

住まいのトラブルに備えたい



スタイルプランP

Amazonで暮らしを便利・快適にしたい



スタイルプランd

Dポイントを自動でザクザクためたい



スタイルプランE

もっと環境のことを考えて電気を選びたい

<ウィズプラン>

ウィズradikoプラン

ウィズよしもとプラン

ウィズABEMAプラン

高品質な安心安全の実現

- ・365日対応の受付体制
(ガス機器修理は24時間対応)
- ・200店舗、1,200人体制の専門スタッフによる即日訪問
- ・高い顧客満足度



暮らしのワンストップサポート



- ・ガス機器修理
- ・水まわり、エアコン修理
- ・ハウスクリーニング
- ・パソコン・IoT機器
トラブル対応 等

固定通信サービス

さすかねっと



エネルギー事業（業務用・産業用）における強みと取り組み

*実績は22年9月末時点

- ✓ 工場・オフィス・商業施設などの法人のお客さまのCO₂排出削減の意向、増加する自然災害への対応などの経営課題に対応するため、商材・サービスをDaigasエナジー(株)が「D-Lineup」として提供し、多数でご採用いただいている

D-Green

新たに設置した電源（新設非FIT電源）を中心とした、再生可能エネルギー電気料金メニュー

21年4月 販売開始

171拠点

(株)島津製作所他。数十社からお問い合わせ。

D-Solar

お客さまの「CO₂排出量削減」「BCP対策強化」を、初期投資ゼロで実現する自家消費型太陽光発電サービス

20年6月D-Solarとしてブランド名統一

49拠点

六甲バター(株)神戸工場他

D-Bio

オンサイトでの廃棄物有効利用による処分量の削減と、CO₂排出量を削減するサービス

21年10月 受付開始

10拠点

D-Aqua

お客さまの「上水・排水処理コストの削減」「BCP対策強化」「環境負荷低減」を実現する水処理サービス

21年3月D-Aquaとしてブランド名統一

125拠点

D-Airing

空調・換気による快適な環境を、省エネで実現するサービス

20年4月 販売開始

23拠点

D-Lineup

Decarbonization

低・脱炭素化

Decentralization

分散化

Digitalization

デジタル化

D-Response

節電や自家発活用により電力系統の安定化に貢献しながら、報酬を得られるデマンドレスポンスサービス

17年4月 サービス開始

360拠点

D-Fire

お客さまの「省エネ・省人化」「品質均一化」「操業安定」を実現するIoTサービス

19年6月 受付開始

5 拠点

QA3 :

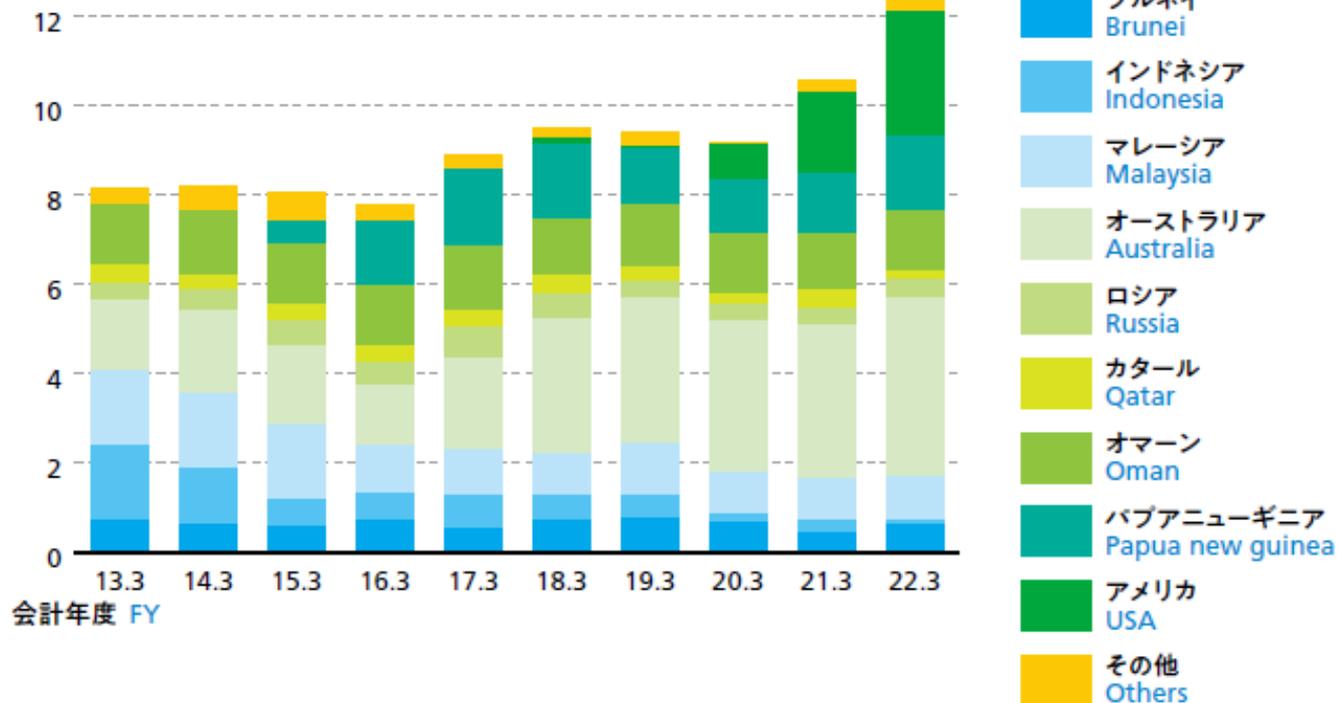
ロシアのウクライナ侵攻後、エネルギーセキュリティに関する不安があるが、電気・ガスの安定供給は大丈夫なのか？

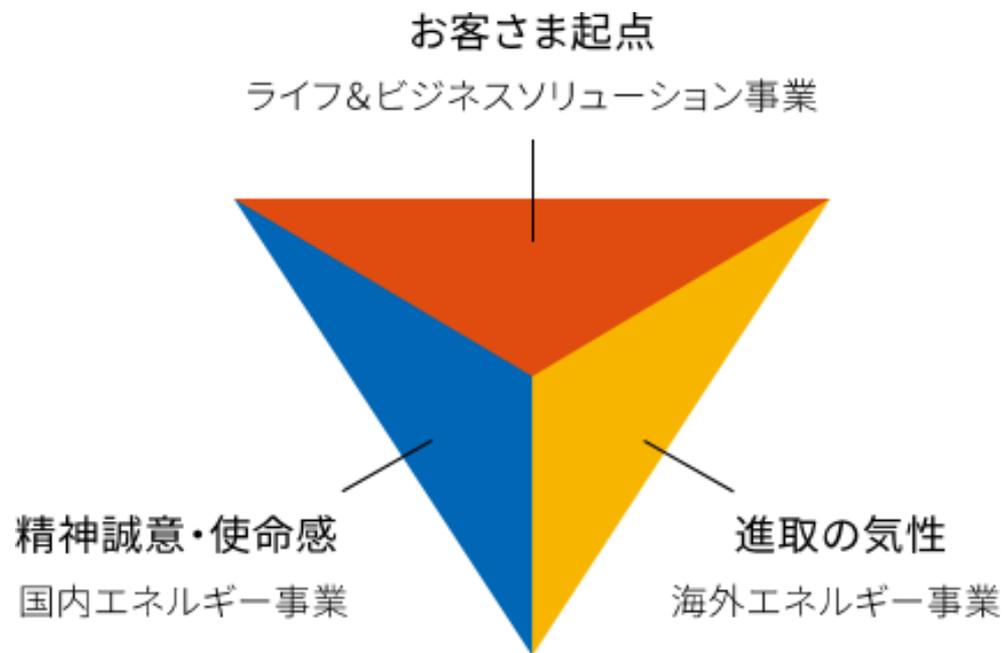
DaigasグループのLNG調達

- ✓ 調達先の多様化に努めており、原料調達の安定化を図っている

Daigasグループ LNG取扱量 LNG handled by Daigas group

(百万トン million ton)





ご清聴
ありがとうございました